

## 学生への報告

### 2009年度授業アンケートの結果について

白梅学園大学・白梅学園短期大学  
FD委員会

学生の皆さんのこの1年の学習や研究はいかがでしたか。皆さんの良い学びができたでしょうか。教員も皆さんの学びを支援するためにさらに努力をしたいと考えています。

これまで、自己点検・自己評価委員会が担当していました「授業アンケートによる改善等の取組み」は、2009年度後期から、大学の教育力や学生の学ぶ力を高めるための組織としてFD(学生にわかりやすい授業展開をするための工夫の取組み)委員会が設置されたことに伴い、この委員会が担当していくことになりました。

#### 1. アンケート調査の目的

白梅学園では2002年度より学生の皆さんたちに授業アンケートを行って回収し、それらの内容から授業の改善をめざしてきています。さらに、客観的な評価を行うために、次のように取り組んできました。

- (1)ゼミナール等を除いて全ての授業でアンケート実施すること
- (2)アンケートの回収を授業担当の教員ではなく事務の方々にお願いしたこと
- (3)記述の部分を電子データ化と評価の数値の平均とを合わせて授業担当者に渡し、残された期間の授業の対応と学生の回答へのコメントを求めたこと
- (4)アンケート結果と授業担当者のコメントをまとめて、教員の自己点検・自己評価委員会として学生の皆さん方にアンケート結果を報告すること
- (5)以上を前提に、次年度の授業をより良いものするために、教員と学生で作って行く契機とすること

#### 2. アンケートの経過と結果

前期は7月初旬にアンケートを実施し、授業担当者に7月中に結果を戻してコメントを求めました。後期は12月中旬にアンケートを実施し、1月下旬には授業担当者にアンケートの結果を配布してコメントを書いてもらいました。そして残された期間での授業の改善をお願いしました。

また、学生の授業アンケートの活用について、12月に全教員を対象にアンケート調査を行っています。皆さんのアンケートを活かしていくためのもので、これによる改善等については現在検討中です。

以下に、学生の皆さんへのアンケート結果全体と、授業担当者からのコメントを参考にして、授業アンケートについてのまとめの報告をします。

##### (1) 授業アンケートについて

質問項目は以下の通りですが、アンケートの回収率は、前期が75%（昨年度74%）で7割を越えましたが後期は66%（昨年度62%）でした。回収率は昨年度に比べてやや向上したものの、1昨年に比較するとそれぞれ10%程度低い水準となっています。この低さは「授業評価アンケートを出しても何も変わらないので意味が無い」と学生が受け止めているとも考えられ、実施する側の努力が求められていると私たちは受け止めています。FD委員会としては、学生のアンケートが適切に反映する取り組みを行う予定です。次年度には多くの学生の協力をお願いしたいと思います。

評価の全体像ですが、全体的な平均では前期、後期ともに4.0を越えました。昨年度に比べるとやや低下しています。（前期0.06ポイント、後期0.01ポイントの低下）

評価は点数で表しており、次ページの質問項目について「そう思わない」1点、「ややそう思わない」2点、「どちらともいえない」3点、「ややそう思う」4点、「そう思う」5点で集計しています。

平均が4を超えているということは、全体としては「学生に良い評価される状態にある」と判断できると考えます。

学科ごとにみると、大学子ども学科2・3年生が昨年度に比べて向上しています。また短期大学では保育科1年、福祉援助学科2年生が昨年度に比べて向上をしています。

全体の平均としては前述のように4.0を越えています。大学全体（短大除く）で見た場合に、後期の評価は3.87という結果になっています。学生の皆さんが白梅の授業に一定の評価を行っていることは伺えますが、この数字は、教員の側としての取り組みの必要性を求める結果であると認識しています。

## (2)2009年度授業アンケートの集計結果

1. 毎回の授業の目的が明確で、それに沿って行われていましたか
2. 今までの授業全体の内容を理解できましたか
3. 教員は、授業内容に熱意を持っていましたか
4. 教員が、学生の理解度に配慮していましたか
5. 授業での教員の声の大きさや言葉づかいは適切でしたか
6. 板書や教材などは見やすかったですか
7. 成績評価の方法と基準は明確に理解できましたか
8. あなたは、この授業に熱心に参加しましたか
9. 分からないことは、質問したり調べたりしましたか
10. この授業を受講して、その分野についての新しい知識や技能が得られましたか
11. この授業について、総合的に満足していますか

前期	履修	回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
大学共通	1295	1,153	4.17	3.76	4.45	3.95	4.35	3.94	3.86	3.99	3.49	4.18	4.08	4.02
子ども学科1年	1,215	1,068	4.17	3.90	4.28	3.86	4.12	3.96	3.71	4.15	3.64	4.10	3.97	3.99
子ども学科2年	1,723	1,422	4.42	4.16	4.53	4.19	4.45	4.14	4.07	4.27	3.88	4.38	4.29	4.25
子ども学科3年	1,608	771	4.35	4.05	4.52	4.10	4.34	4.01	3.96	4.19	3.70	4.37	4.21	4.16
子ども学科4年	446	305	4.44	4.11	4.71	4.20	4.37	4.05	3.87	4.15	3.77	4.46	4.32	4.22
発達臨床1年	459	383	4.40	4.02	4.54	4.11	4.44	4.09	4.00	4.28	3.63	4.29	4.29	4.19
教養教育	1,034	713	4.34	4.08	4.47	4.20	4.42	4.19	4.13	4.21	4.00	4.22	4.24	4.23
保育1年	1,132	980	4.60	4.32	4.60	4.34	4.58	4.33	4.27	4.43	4.10	4.49	4.39	4.40
保育2年	1,841	1,279	4.19	3.95	4.31	3.97	4.13	3.87	3.89	4.13	3.82	4.17	4.06	4.04
福援1年	390	324	4.42	4.06	4.43	4.12	4.35	4.11	4.10	4.13	3.71	4.25	4.21	4.17
福援2年	211	185	4.38	4.13	4.39	4.09	4.28	3.96	4.09	4.13	3.93	4.29	4.24	4.17
心理2年	446	310	4.26	3.76	4.27	3.91	4.38	3.95	4.05	4.00	3.69	4.11	3.98	4.03
75%	11,800	8,893	4.35	4.03	4.46	4.09	4.35	4.05	4.00	4.17	3.78	4.28	4.19	4.16
後期	履修	回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
大学共通	390	305	4.02	3.56	4.24	3.79	4.08	3.53	3.65	3.75	3.45	3.99	3.87	3.81
子ども学科1年	1,275	1,095	3.96	3.71	4.22	3.67	3.99	3.77	3.57	3.83	3.38	3.89	3.80	3.80
子ども学科2年	2,051	1,569	4.47	4.23	4.65	4.29	4.49	4.20	4.14	4.36	4.04	4.48	4.39	4.34
子ども学科3年	1,234	601	4.33	4.07	4.51	4.14	4.30	4.13	3.84	4.08	3.65	4.28	4.13	4.13
子ども学科4年	50	40	4.98	4.40	4.90	4.65	4.76	4.66	4.35	4.55	4.16	4.78	4.54	4.60
発達臨床1年	232	212	4.28	3.85	4.41	3.94	4.37	3.87	3.95	4.01	3.55	4.03	4.17	4.04
教養教育	448	270	4.32	4.00	4.40	4.02	4.30	4.13	4.13	4.04	3.89	4.10	4.10	4.13
保育1年	1,623	930	4.29	4.05	4.33	4.01	4.23	3.96	3.88	4.11	3.72	4.19	4.05	4.07
保育2年	1,549	781	4.11	3.96	4.37	3.94	4.18	3.78	3.80	4.07	3.75	4.14	4.00	4.01
福援1年	518	390	4.23	3.93	4.18	3.96	4.16	4.02	3.91	3.98	3.56	4.13	4.09	4.01
福援2年	199	149	4.18	3.78	4.13	3.86	4.04	3.87	3.67	3.87	3.65	3.95	3.91	3.90
心理2年	144	100	4.19	3.87	4.34	3.96	4.35	3.93	3.97	3.92	3.70	4.14	4.01	4.04
66%	9,713	6,442	4.28	3.95	4.39	4.02	4.27	3.99	3.91	4.05	3.71	4.18	4.09	4.07

### (3) 2009年度授業アンケートの分析

各項目別に、どのようなことについて評価が高いのか、どのような項目に評価が低いのかをみてみます。評価が高いのは、前・後期共に「1.毎回の授業の目的が明確で、それに沿って行われていたか」及び「3. 教員は、授業内容に熱意を持っていたか」の二つの質問への回答です。一方、評価が低いのは、「9. 分からないことは、質問したり調べたりしましたか」の質問で、昨年と比べれば若干高くなったものの引き続いて前後期とも最も低い数字になっています。学生の皆さんが忙しくて調べる時間が無い生活実態があるのか、あるいは、調べたり質問したりしにくい何かがあるのかを検討していくことも必要と思われます。

今回大学共通科目も出しています。これで見ると、高いのは、項目1, 3, にプラスして「5. 授業での教員の声の大きさや言葉遣いは適切でしたか」で、低いのは、項目9. にプラスして「2. 今までの授業全体の内容を理解できましたか」「4. 教員が学生の理解度に配慮していましたか」「6. 板書や教材などは見やすかったですか」「7. 成績評価の方法と基準は明確に理解できましたか」「8. あなたは、この授業に熱心に参加しましたか」などとなり、学科別の評価に比較すると低い項目が多いことには気がなります。共通科目の場合は学科にまたがることによる問題があるのかも検討の余地があるとも言えます。

高い評価では、前期の保育科1年生で項目1. 3. で4. 60。後期では、子ども学科4年生の項目3. で4. 90などがあります。

全体的には、教員が授業の目的を明確にしながら熱意を持って授業に取り組んでいると評価し、昨年と比較して授業内容の理解については改善してきている結果になっているとみなせます。教員側の学生の実態に配慮した授業展開についても昨年と比較すると改善はしてきています。前述したように大学共通科目の評価の低さが課題と思われます。

なお、記述の部分で、様々な施設上の問題点が具体的に指摘されています。学習環境は意欲的に学習する上で重要ですから、しかるべきところで検討し、改善できるように資料とさせていただきます。

また、教員の個別の努力については、下記のとおり要請しています。

自由記述内容から、教員への改善要請としてまとめられたことは以下です。

- ・ 授業開始時間と終了時間の厳守
- ・ 授業環境について配慮（施設、プライバシー保護、学生の私語への注意法など）
- ・ 授業方法・技術について（見やすい板書、情報機器使用における展開のスピード、聞き取りにくい音声やことばの表現など）

これらの意見は、前年とほぼ同じとなっています。「真摯に受けとめて改善していくことに努めます。」と昨年報告していますが、現状では教員一人ひとりの自己努力、自己改善にゆだねているので、今後の改善の方法については検討が必要と考えています。FD委員会としては、教員の教える力を高める研修なども今後計画し、改善が図られるように進めて行きたいと考えています。

### 3. 今後の進め方について

大学での授業は最も重要なテーマです。学生の皆さんと授業担当者である教員、そしてそれを支える事務職員のそれぞれの努力があって初めて有効に機能します。したがって今後も授業アンケートを資料にしながら改善をすすめて行きたいと思えます。

FD委員会では、2010年度に教員の研修会等を計画し、学生アンケートの結果を参考として改善に繋がる取り組みを開始します。

在学生の皆さんへの次回の授業アンケートは、2010年7月と11月に実施を予定しています。授業途中での改善につなげるために、5月、10月に変更も検討しています。

アンケート項目などで意見などありましたらFD委員会までお寄せ下さい。